

<p>【技術の名称】 アンボンドブレース耐震補強工法 -強度・靱性型耐震補強工法-</p>	<p>性能証明番号：GBRC 性能証明 第16-02号 性能証明発効日：2016年6月17日</p> <p>【取得者】 新日鉄住金エンジニアリング株式会社</p>
--	--

【技術の概要】

本技術は、RC造、SRC造およびS造の耐震補強にアンボンドブレースと称する座屈拘束ブレースを用いる耐震補強工法である。アンボンドブレースは、軸力を負担する中心鋼材を鋼管とモルタルで拘束し、座屈することなく安定的に塑性化するブレースであり、日本建築センターの評定（BCJ評定-ST0125-05、BCJ評定-ST0126-04）を取得している。本技術は強度・靱性型の耐震補強工法であるが、普通鋼タイプと低降伏点鋼タイプの2つのタイプを設定し、普通鋼タイプではブレース降伏軸力以降の歪硬化を見込まず、低降伏点鋼タイプでは歪硬化を見込む設計法としている点に特徴がある。

【技術開発の趣旨】

本技術は、申込者が開発したアンボンドブレースを用いて既存建物の強度・靱性型耐震補強を行うことを目的に開発された。本技術では、ブレースの鋼種や塑性化長さ、ブレース角度等を考慮した耐力上昇係数を用いることで、補強する建物の靱性に応じた合理的な設計・施工が期待できる。

【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。

申込者が提案する「アンボンドブレース耐震補強工法設計・施工指針」に従って設計・施工されたアンボンドブレースと既存骨組からなる耐震補強架構は、同指針で規定している終局耐力および変形性能（耐震診断において用いる靱性指標F値）を有する。

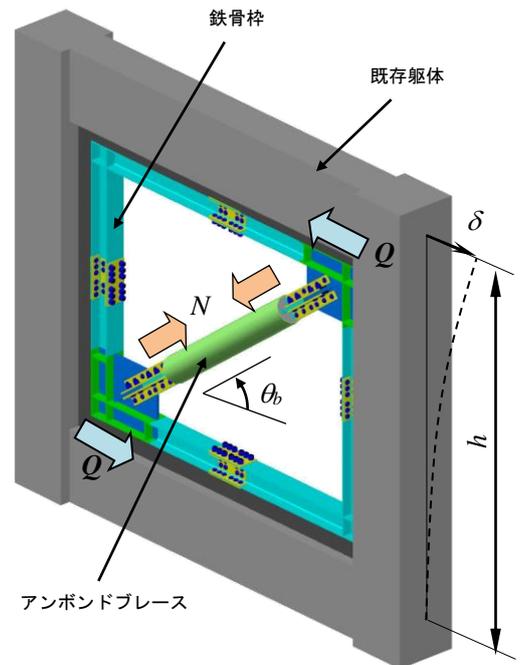


図1 アンボンドブレース耐震補強工法

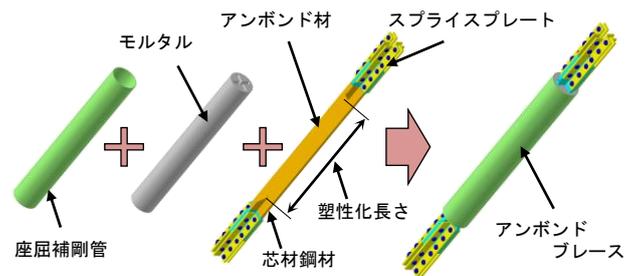


図2 アンボンドブレースの構成

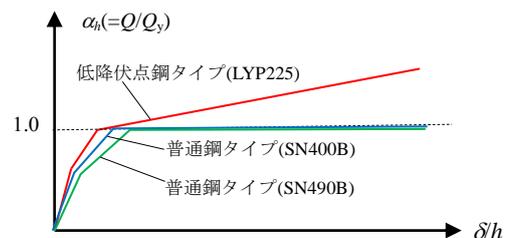


図3 耐力上昇係数の例

【本技術の問合せ先】

新日鉄住金エンジニアリング株式会社 建築・鋼構造事業部

鋼構造営業部 免制震デバイス営業室

〒141-8604 東京都品川区大崎一丁目5番1号

担当者：外園聡

E-mail:hokazono_soh.my6@eng.nssmc.com

TEL：0120-57-7815 FAX：03-6665-4852